

2019年3月期

証券コード： 5938

第3四半期決算説明資料(IFRS)

(2018年4月 – 2018年12月)

株式会社 LIXILグループ

2019年1月31日



Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

2016年3月期よりIFRSに移行しています
各段階利益の名称の違いは以下のとおりです

日本基準	IFRS (当社財務報告)
	継続事業
売上高	売上収益
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販管費	販管費
営業利益	事業利益 (CE)
営業外収益・費用	その他収益・費用
経常利益	営業利益
特別損益	金融収益・費用
	持分法投資損益
税引前利益	税引前利益
	継続事業からの当期利益
	非継続事業
	非継続事業からの当期利益
当期利益	当期利益
非支配持分に帰属する当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
親会社の株主に帰属する当期利益	非支配持分に帰属する当期利益

IFRS基準の「事業利益 (CE)」は日本基準の「営業利益」に相当

〔(開示事項の経過)連結子会社の異動(株式譲渡)の進捗状況に関するお知らせ〕に開示(10/22)しましたとおり2019年3月期第2四半期よりベルマステリーザ社及びその子会社の事業を「非継続事業」から「継続事業」に分類し直しています。比較のため前期も同様に組替を行っています。

国内事業の回復により増収、最終利益黒字化

- 10月以降国内市場、安定化。新経営体制の下で順調なスタート
- 売上 1兆3,812億円、前年同期比1%増
国内は全事業で増収、海外は事業環境の厳しさ続き、前年並みで推移
- 事業利益 371億円、前年同期比46%減（3Q 3ヶ月前期同期比16%減）
国内：上期減益の影響が残るものの、3Qにおけるハウジング事業の改善が減益幅縮小に寄与
海外：人件費、資材等のコスト上昇により減益
- 最終利益 21億円、上期の赤字から回復
上期の事業利益の減少、および、前期計上した子会社売却に関連する繰延税金資産の取消しによる税金費用の増加を要因として減益なるも、3Qにおけるハウジング事業の改善が事業利益の減益幅縮小に寄与し黒字化

LIXIL 最終利益=親会社の所有者に帰属する四半期利益

3

2019年3月期 第3四半期連結業績結果

億円	19/3期 3Q3ヶ月 実績		対前年 同期比	18/3期 3Q9ヶ月 実績		19/3期 3Q9ヶ月 実績		前年同期比		修正後 計画進捗率
	実績	%		前年度 遡及修正後 報告額	実績	増減	%	%		
売上収益	4,930	2.7%	13,704	13,812	108	0.8%			74.9%	
(従来) 継続事業	4,503	2.2%	12,505	12,609	104	0.8%			75.1%	
ハピネスティイザ	426	8.2%	1,199	1,203	4	0.3%			72.6%	
売上総利益	1,472	-4.1%	4,367	4,152	-215	-4.9%			-	
(%)	29.8%	-	31.9%	30.1%	-1.8pt	-			-	
事業利益⁽¹⁾	234	-16.1%	686	371	-314	-45.8%			82.5%	
(%)	4.7%	-	5.0%	2.7%	-2.3pt	-			-	
(従来) 継続事業	281	0.5%	686	462	-224	-32.6%			86.4%	
ハピネスティイザ	-48	-	-1	-91	-90	-			-	
最終利益⁽²⁾	108	-58.3%	386	21	-365	-			142.3%	

- 第3四半期3ヵ月においては、ハウジング事業の貢献を主因として増収、事業利益減益幅縮小、最終利益は黒字化
- 事業利益の通期予想に対する進捗率は82.5%。一層のコスト削減努力により通期計画の達成を目指す

LIXIL (1) 日本基準の「営業利益」に相当
(2) 親会社の所有者に帰属する四半期利益

4

第3四半期（3カ月・累計）セグメント別業績概況

▶ 第3四半期3カ月においては、ハウジング事業の貢献を主因として増収、減益幅縮小

	(億円)	第3四半期 3カ月			第3四半期 9カ月		
		18/3期 3Q	19/3期 3Q	増減 金額	18/3期 3Q累計	19/3期 3Q累計	増減 金額
LWT ⁽¹⁾	売上収益	2,188	2,185	-3	6,151	6,205	53
	事業利益	243	206	-37	594	461	-133
LHT	売上収益	1,403	1,479	76	4,055	4,049	-6
	事業利益	89	114	25	259	160	-99
LBT	売上収益	671	721	51	1,989	2,024	35
	事業利益	1	-44	-45	22	-81	-103
流通・小売り事業 (D&R)	売上収益	466	481	16	1,341	1,360	19
	事業利益	27	29	2	73	76	4
住宅・サービス事業等 (H&S)	売上収益	156	148	-8	395	410	15
	事業利益	11	12	1	21	26	4
全社/連結調整	売上収益	-84	-84	-1	-227	-236	-8
	事業利益	-93	-84	9	-284	-271	13
合計	売上収益	4,800	4,930	130	13,704	13,812	108
	事業利益	278	234	-45	686	371	-314

LIXIL

(1) 19/3期1Qより、報告セグメントを変更し、キッチンテクノロジー事業をウォーターテクノロジー事業に含めています

(2) 事業売却等影響は、前期LWTにおいて、売上-67億円、事業利益-2億円、当期LHTにおいて売上-35億円、事業利益-2億円です

5

国内テクノロジー事業ハイライト（第3四半期3ヶ月）

	(億円)	第3四半期 3カ月			第3四半期 9カ月		
		18/3期 3Q3ヶ月	19/3期 3Q3ヶ月	増減 金額	18/3期 3Q累計	19/3期 3Q累計	増減 金額
LWT	売上収益	1,170	1,179	9	3,248	3,259	11
	事業利益	132	128	-4	301	231	-70
LHT	売上収益	1,365	1,454	89	3,945	3,969	24
	事業利益	93	111	18	260	162	-98
LBT	売上収益	275	295	20	788	821	33
	事業利益	6	4	-2	30	11	-19
合計	売上収益	2,811	2,928	117	7,981	8,049	68
	事業利益	231	242	11	591	405	-186

▶ 国内販売体制安定化により、3Q 3ヶ月においては3事業合計で増収・増益

- ウォーターテクノロジー事業：コストダウン・販売費低減により事業利益減益幅は改善
- ハウジングテクノロジー事業：上期需要減・自然災害影響からの回復
エクステリア商品等の需要増により増益
- ビルディングテクノロジー事業：堅調なビル需要を受け、増収。開発費・運送費増加等により減益

LIXIL

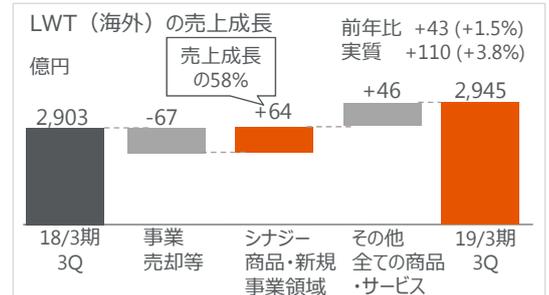
6

Water Technology / ウォーターテクノロジー事業

▶ 全地域で増収ながら資材高影響等で粗利減少、粗利の改善・販管費削減進めるも減益

4月-12月 億円		19/3期 3Q	YoY 現地通貨 ベース	19/3期 通期予想		
地域別売上 (1)	アメリカ	1,070	+2%	+6%		
	欧州、中東、 アフリカ地域	1,202	0%	+1%		
	アジア太平洋地域	827	+10%	+14%		
	日本	3,259	+0%	-2%		
	連結調整	-154				
	Water Technology	6,205	+1%	事業 利益率%	8,490	+2% 事業 利益率%
事業利益 (1)	アメリカ	46	-33%	4%	-3%	6%
	欧州、中東、 アフリカ地域	153	-8%	13%	+1%	14%
	アジア太平洋地域	71	-29%	9%	-4%	9%
	日本	231	-23%	7%	-29%	5%
	連結調整	-40				
	Water Technology	461	-22%		635	-14%
事業利益率		7.4%	-2.2pt		7.5%	

- **アメリカ**
 - ✓ シナジー商品および注力事業領域の好調により増収
 - ✓ 販管費削減に努めるもコスト増により減益
- **欧州、中東、アフリカ地域**
 - ✓ 中欧軟調も東欧の大幅成長により欧州売上3%増
 - ✓ 中東は第3四半期から対前年成長基調へ
 - ✓ 資材高により減益
- **アジア太平洋地域**
 - ✓ 中国でのマーケティング施策が奏功し増収
 - ✓ 先行投資（ショールーム・R&Dセンター開設等）による販管費増により減益
- **日本**
 - ✓ 売上高横ばい
 - ✓ 上期の売価・商品ミックス悪化と資材高により減益



LIXIL

(1) 地域別はマネジメントベース、合計は制度会計ベース
制度連結会計 為替レート： 19/3期 3Q 実績 1 USD=110.82円、1 EUR=129.38円、19/3期 前提 1 USD=115円、1 EUR=135円
マネジメントベース為替レート： 19/3期 1 USD=115円、1 EUR=135円で比較

7

Housing Technology / ハウジングテクノロジー事業

▶ 9か月累計では減収減益なるも、エクステリア商品等の需要増により第3四半期において大幅改善

4月-12月 億円		19/3期 3Q	YoY	19/3期 通期予想	
地域別売上	日本	3,969	+1%	-3%	
	海外	80	-27%	-16%	
	Housing Technology	4,049	-0%	5,175	-3%
事業利益	Housing Technology	160	-38%	130	-53%
	事業利益率	4.0%	-2.4pt		2.5%

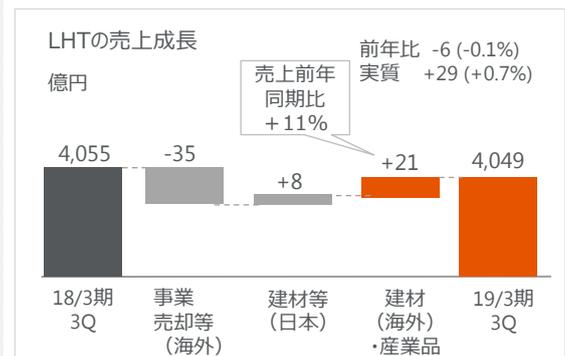
- **日本**
 - ✓ 10月以降エクステリア商品、高断熱商品（内窓、玄関ドア）の売上好調により商品ミックス良化、利益率改善

<対前年同期伸び率>

エクステリア 4-9月 -4%、10-12月 +12%

住宅サッシ（内窓・玄関ドア含む）

4-9月 -7%、10-12月 +0.5%



LIXIL

8

Building Technology / ビルディングテクノロジー事業

国内事業の伸びにより増収、北米における工事コストの大幅増加により減益

4月-12月 億円		19/3期 3Q	YoY	19/3期 通期予想
地域別売上	日本	821	+4%	+2%
	海外	1,203	+0%	+1%
	Building Technology	2,024	+2%	2,750 +1%
事業利益	Building Technology	-81	-103	-50 -
	事業利益率	赤字	-	赤字

- **日本**
 - ✓ 堅調なビル需要を受け、増収
 - ✓ 開発費・運送費増加等により減益
- **海外（ペルマステイラーザ）**
 - ✓ 受注は順調に進捗しており、増収
 - ✓ 他方、北米において大幅に人件費が高騰していることなどを主因として、工事原価が大幅増加し、減益
- ✓ 当期2Qに継続事業に振替え以降、再度、受注物件全件について厳格に精査中
- ✓ 依然状況厳しく、当期4Q中に収益性回復に向けた再生計画の策定完了と実行開始を予定

流通・小売り事業（D&R）、住宅・サービス事業等（H&S）

リフォーム関連が既存店売上を牽引し、増収増益

4月-12月 億円		19/3期 3Q	YoY	19/3期 通期予想
D & R	売上 ⁽¹⁾	1,360	+1.4%	1,765 +2%
	事業利益 ⁽¹⁾	76	+5%	80 +16%
	事業利益率 ⁽¹⁾	5.6%	+0.2pt	4.5%

- 第3四半期9ヵ月で、5店舗新規出店
- リフォーム関連売上構成比率
37.3%→39.0%（前年同期比+1.7pt）
引き続き、中長期でリフォーム関連売上構成比率50%をめざす（R-50）

重点施策である新事業領域・非新築領域への注力により増収増益

4月-12月 億円		19/3期 3Q	YoY	19/3期 通期予想
H & S	売上	410	+4%	565 +8%
	事業利益	26	+20%	35 +38%
	事業利益率	6.3%	+0.9pt	6.2%

- 新築以外⁽²⁾売上構成比
35%→36%（前年同期比+1.3pt）

連結財政状態

億円	[A]	[B]	増減			
	18/3月末	18/12月末	売却目的で保有する資産/負債振替額		その他 (実質増減)	[B]-[A] 増減合計
			非継続事業	その他		
現金及び現金同等物	1,388	1,306	51	-14	-118	-81
営業債権及びその他の債権	3,433	4,041	592	-31	47	608
棚卸資産	2,179	2,398	50	-13	181	218
売却目的で保有する資産	1,802	124	-1,810	124	8	-1,678
その他	12,270	13,018	1,117	-66	-303	749
資産合計	21,071	20,887	-	-	-184	-184
営業債務及びその他の債務	3,390	3,695	383	-20	-57	306
有利子負債	6,879	7,398	233	0	286	519
売却目的で保有する資産に直接 関連する負債	1,275	57	-1,378	57	103	-1,217
その他	3,032	3,526	762	-37	-231	494
負債合計	14,576	14,677	-	-	101	101
自己株式	-490	-489	-	-	1	1
その他	6,986	6,700	-	-	-286	-286
純資産合計	6,496	6,210	-	-	-285	-285
(1) 自己資本比率(%)	29.3%	28.1%				-1.2pt
(2) 一株当たり純資産(円)	2,128.77	2,024.90				-103.87
期末株式数(千株)	289,790	290,089				299
Net有利子負債	5,492	6,092				600

- ① 季節要因により増加 ② 投資有価証券の評価減による減少（評価損は包括利益(BS)に直入）など
③ 賞与、税金支払等の季節要因などにより増加 ④ 賞与、税金支払等の季節要因などにより減少

LIXIL

(1) 親会社所有者帰属持分比率
(2) 1株当たり親会社所有者帰属持分

11

キャッシュフローの状況及び現金残高

億円	17/12期	18/12期	増減額
継続事業からの税引前（四半期）利益	682	362	-320
非継続事業からの税引前（四半期）損失	-245	-	245(注)
税引前利益	437	362	-75
減価償却費及び償却費	483	510	27
法人所得税等支払	-232	-261	-29
運転資本	-86	-297	-211
売却目的で保有していた処分グループの公正価値 評価により認識した損失/再測定により認識した利益	221	-20	-241(注)
その他	-105	-34	72
営業キャッシュフロー	718	260	-459
投資キャッシュフロー	-479	-523	-44
(うち有形・無形資産取得支出)	-445	-483	-38
フリーキャッシュフロー	240	-263	-503
財務キャッシュフロー	-138	151	289
現金及び現金同等物の期末残高	1,261	1,306	46

- ① フリーキャッシュフローは前年同期に比し503億円の減少
② 営業キャッシュフローは税引前利益の減少及び運転資本の悪化により、459億円の減少

LIXIL

(注) 「非継続事業からの税引前（四半期）損失」と「売却目的で保有していた処分グループの公正価値評価により認識した損失/再測定により認識した利益」は相殺

12

▶ 新たな経営の方向性

LIXILグループの進化のステージ



統合

FYE2012-2013

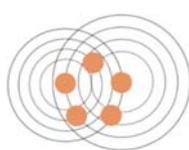
- 国内5社統合
- コーポレートガバナンスの強化



事業の拡大と成長

FYE2014-2016

- M&Aを通じた成長
- グローバル基盤の確立



筋肉質化とグループ
一体化に向けた取り組み

FYE2017-2019

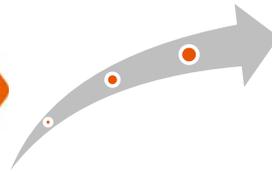
- 効率的で機動力のあるシンプルな組織の構築
- 収益性向上とバランスシート強化



再成長と事業モデル改革を
通じた企業価値の最大化

FYE2020-2024

- グループ内資産を最大限活用することによる成長と企業価値向上の追求
- 純粋持株会社と自律した事業組織を両輪とした事業発展と経営の進化



LIXILグループの実態理解のための多面的・重層的なアプローチ



- LIXILグループが有する資産と組織の実情を把握するための現場訪問
 - ✓ 国内外工場、R&D拠点、営業拠点の視察
 - ✓ 各現場での方針説明や質問・提案のヒアリング
- 多くの社員とのコミュニケーション
 - ✓ ラウンドテーブル・ディスカッション
 - ✓ 「今週のファインディングス」の発信
- 国内営業活性化のための方針浸透とディスカッション
 - ✓ シェア回復作戦のキックオフ
 - ✓ 市場、競争、業績把握と問題対応のための週次ミーティング
- 「外」からの見方の把握
 - ✓ 主要顧客からのヒアリング
 - ✓ 業界内外の協業候補先とのディスカッション



経営プランの基盤となる「現場」「現実」「課題」「機会」の把握

複数のリーダーの知恵とリーダーシップを集結するチームアプローチ



- グローバルなトップマネジメントチームの協働による新経営プランの立案
 - ✓ ドイツ、東京での2回の集中討議を通じた新たな価値創造機会・アイデアの創出
 - ✓ 選択した価値創造取組みのリーダーシップの分業
- 国内事業成長のための課題解決チーム
 - ✓ 消費刺激策が生み出す需要の有効取組み
 - ✓ リフォーム戦略のバージョンアップ
- 本質的な組織課題を深掘するリーダーシップ討議
 - ✓ 人材マネジメントの更なる進化に向けて
 - ✓ 開発力、技術力の更なる強化に向けて



LIXILグループが持つ多様性を最大限に活かす経営の実現

事業環境における課題と機会

	外部環境	内部環境
課題	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 原材料の高騰、インフレによるエネルギーや輸送コストの上昇 ✓ 国内新設着工件数の逡減 ✓ 想像以上の速さで進む米国市場の構造変化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 喪失したシェアの回復 ✓ テクノロジーの進化と働き方改革が求める人材活用、転換の必要性
機会	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2019年度における日本政府による消費税増税に関連した需要喚起施策の公表 ✓ 水の安全性や水質に対する需要の増加 ✓ 熟練工不足の問題解消を目的とした新たなビジネスモデルに対する需要 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 活力を取り戻した日本国内営業とシェア回復の早期成功 ✓ LIXILグループ横断的な新技術・ベストプラクティス活用によるビジネスモデルの変革に対する気運の高まり ✓ グループ全体における技術革新数の増加・蓄積

基本となる戦略の方向性

目的

再成長と
事業モデル改革
を通じた
企業価値の
最大化

目的達成に向けた主要な戦略

- **これまでに積み上げてきた資産をフル活用した成長と収益力向上の実現**
…各事業での知見とアイデアのストレッチ、グループ内資産の相互活用、自社の強みをベースとした補完的なMA&As（M&Aおよびアライアンス；要素技術、デジタル、チャネル）
- **新しい成長エンジンの創造**
…競争力を持つ事業モデルの他地域への展開、既存事業の要素技術を生かした新規事業創出、既存事業のモデル転換による新たな収益の獲得
- **包括的な事業モデルの改革と筋肉質化**
…簡素化の継続的推進、デジタル化、エンドユーザー指向
- **スマートかつ大胆な経営資源の配分と活用**
…重複削除、経営資源投入先の絞り込み、パートナーリング活用
- **現場起点、現場重視、現場主義の組織への復帰**
…「つくる」「うる」への集中、直間比率の是正、「しごと」の定義と働き方の転換
- **持株会社と事業会社の役割の分化と相互牽制**
…持続的な企業価値最大化に向けた長期戦略と事業ポートフォリオマネジメント vs 自律・自立した事業会社

ご参考



LIXIL Water Technology



LIXIL Housing Technology



LIXIL Building Technology



流通・小売り

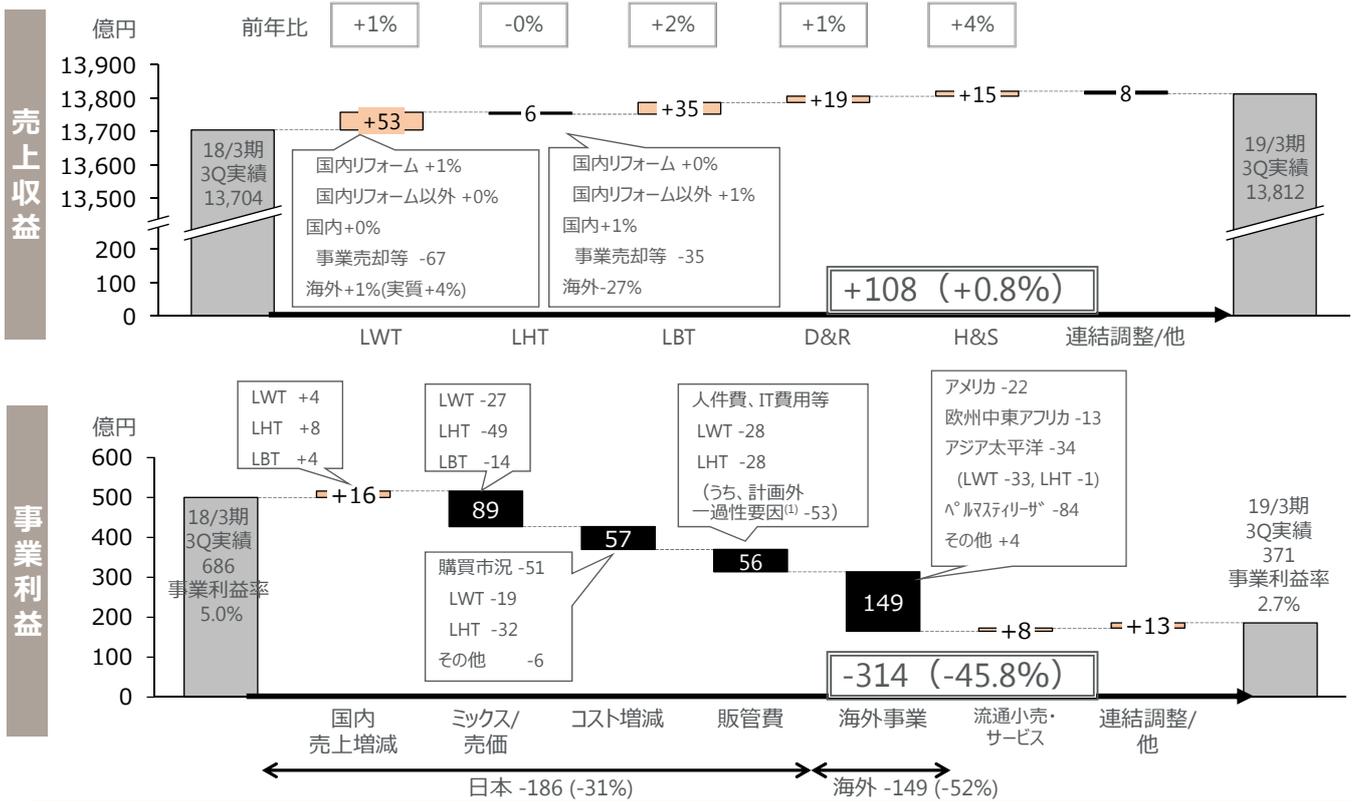


住宅・サービス

2019年3月期 第3四半期連結業績結果（詳細）

億円	(A)	(B)-(A)	(B)	(C)	(C)-(B)			(D)	(C)/(D)
	18/3期 3Q実績	非継続損益 からの振替額	18/3期 3Q実績	19/3期 3Q実績	前年同期比			19/3期	修正後 計画 進捗率
	前年度 報告額	差引き	前年度 遡及修 正後 報告額	実績	増減 うち 為替影響	(C)-(B)	%	修正後 通期予想	%
売上収益	12,505	1,199	13,704	13,812	2	108	0.8%	18,450	74.9%
（従来）継続事業	12,505	-	12,505	12,609	-6	104	0.8%	16,793	75.1%
ハ°ルマスティリーザ°	-	1,199	1,199	1,203	7	4	0.3%	1,657	72.6%
売上総利益	4,275	92	4,367	4,152	-1	-215	-4.9%	-	-
(%)	34.2%	-	31.9%	30.1%	-	-1.8pt	-	-	-
事業利益⁽¹⁾	686	-1	686	371	0	-314	-45.8%	450	82.5%
(%)	5.5%	-	5.0%	2.7%	-	-2.3pt	-	2.4%	-
（従来）継続事業	686	-	686	462	0	-224	-32.6%	535	86.4%
ハ°ルマスティリーザ°	-	-1	-1	-91	0	-90	-	-85	-
最終利益⁽²⁾	386	-	386	21	-	-365	-	15	142.3%
EPS (円)	134	-	134	7	-	-127	-	5	147.2%
EBITDA⁽³⁾	1,145	24	1,169	881	-	-288	-24.6%	-	-
(%)	9.2%	-	8.5%	6.4%	-	-2.2pt	-	-	-

第3四半期（9カ月） 売上収益・事業利益の増減（前年同期差）



LIXIL (1) うち、新取引制度に関連する増加 26億円 (1Q 21億円、2Q 5億円)、その他27億円

21

第3四半期 その他収益・費用、金融収益・費用 内訳

億円	18/3期 3Q実績	非継続損益 からの振替額	18/3期 3Q実績 遡及修正後	19/3期 3Q実績	増減額
賃貸収入	48	1	49	50	1
有形固定資産売却益	2	3	5	2	-3
子会社株式売却益	52	-	52	-	-52
売却目的で保有していた処分グループの再測定により認識した利益	-	-	-	20	20
その他	35	-	35	43	8
その他の収益	136	5	140	116	-25
賃貸原価	33	-	33	32	-1
有形固定資産除売却損	13	0	13	18	4
減損損失	36	-	36	15	-21
売目資産の公正価値評価損	-	221	221	-	-221
その他	45	7	52	40	-11
その他の費用	126	227	354	104	-250
受取利息	12	0	13	10	-2
受取配当金	12	1	13	15	2
デリバティブ評価益	-	-	-	14	14 (1)
為替差益	144	-6	138	-	-138 (2)
その他	1	-0	1	13	13
金融収益	168	-4	164	51	-113
支払利息	35	3	39	40	1
デリバティブ評価損	132	13	145	-	-145 (2)
為替差損	-	-	-	30	30 (1)
その他	15	-0	15	1	-14
金融費用	182	17	198	71	-128

(1)「デリバティブ評価益」は「為替差損」と両建てで表示されています。

19/3期 3Q実績	
デリバティブ評価益	14
為替差損	-30
Net	-17損

(2)「為替差益」は「デリバティブ評価損」と両建てで表示されています。

18/3期 3Q実績	
為替差益	138
デリバティブ評価損	-145
Net	-7損

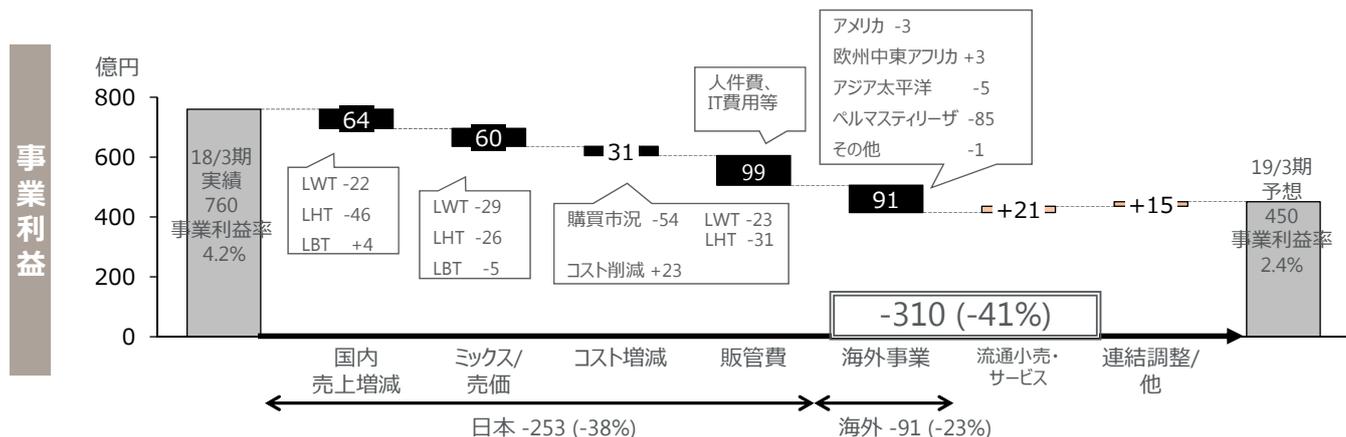
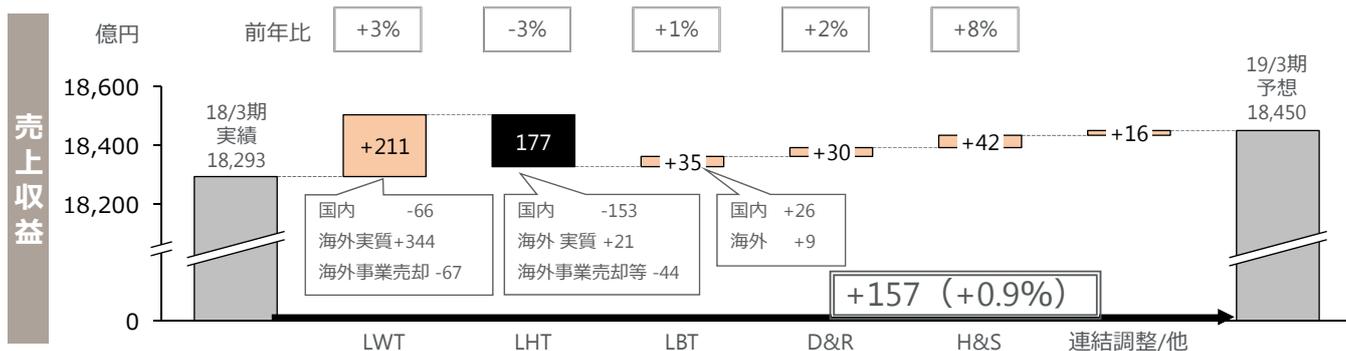


セグメント別 第3四半期 実績・通期業績予想

単位：億円		18/3期 3Q ⁽¹⁾			19/3期 3Q			前年同期比%	19/3期 通期予想			
		国内	海外	計	国内	海外	計		国内	海外	計	前年同期比%
LWT	売上	3,248	2,903	6,151	3,259	2,945	6,205	0.9%	4,290	4,200	8,490	2.5%
	事業利益	301	294	594	231	230	461	-22.4%	238	397	635	-14.0%
	%	9.3%	10.1%	9.7%	7.1%	7.8%	7.4%	-2.2pt	5.5%	9.5%	7.5%	-1.4pt
LHT	売上	3,945	110	4,055	3,969	80	4,049	-0.1%	5,055	121	5,175	-3.3%
	事業利益	260	-1	259	162	-2	160	-38.1%	138	-8	130	-52.7%
	%	6.6%	-	6.4%	4.1%	-	4.0%	-2.4pt	2.7%	-	2.5%	-2.6pt
LBT	売上	788	1,201	1,989	821	1,203	2,024	1.8%	1,093	1,657	2,750	1.3%
	事業利益	30	-8	22	11	-93	-81	-	35	-85	-50	-
	%	3.9%	-	1.1%	1.4%	-	-	-	3.2%	-	-	-
D&R	売上	1,341	-	1,341	1,360	-	1,360	1.4%	1,765	-	1,765	1.7%
	事業利益	73	-	73	76	-	76	5.2%	80	-	80	15.9%
	%	5.4%	-	5.4%	5.6%	-	5.6%	+0.2pt	4.5%	-	4.5%	+0.5pt
H&S	売上	395	-	395	410	-	410	3.7%	565	-	565	8.0%
	事業利益	21	-	21	26	-	26	20.3%	35	-	35	38.1%
	%	5.4%	-	5.4%	6.3%	-	6.3%	+0.9pt	6.2%	-	6.2%	+1.4pt
連結調整・他	売上	-	-	-227	-	-	-236	-	-	-	-295	-
	事業利益	-	-	-284	-	-	-271	-	-	-	-379	-
LIXILグループ	売上	9,717	4,214	13,704	9,819	4,228	13,812	0.8%	12,768	5,977	18,450	0.9%
	事業利益	685	285	686	507	136	371	-45.8%	525	304	450	-40.8%
	%	7.1%	6.8%	5.0%	5.2%	3.2%	2.7%	-2.3pt	4.1%	5.1%	2.4%	-1.7pt

(1) 18/3期 3Qの実績については、19/3期 1QにおけるLWT事業とLKT事業のセグメント上の統合、および19/3期 2Qにおけるベルマステリーザ社の非継続から継続事業への振替の影響を考慮した再表示を行っています。国内・海外の売上/事業利益の合計と「計」の金額の差は、連結調整・他の金額です 23

2019年3月期 通期業績予想 売上収益・事業利益の増減 (前年差)



日本 - 国内リフォーム戦略の進捗：リフォーム向け売上の拡大への注力

2Qまでの自然災害による人手不足も落ち着き3Qは需要増加

リフォーム商材売上

億円	18/3期 3Q実績 ⁽¹⁾	19/3期 3Q実績	前年 同期比
リフォーム商材売上 ^(注)	2,330	2,345	0.7%
リフォーム比率	36%	36%	0.0pt

(注) LIXILジャパンカンパニーとビルリフォーム子会社の売上合計(内部取引消去後)
3Q3カ月はサッシ・エクステリアのリフォームが伸長

リフォーム加盟店の推移

店	17年 3月	18年 3月	18年 12月
LIXILリフォームショップ (FC)	519	546	559
LIXILリフォームネット (ポランタリー)	13,227	12,602	11,817
リクシルPATTOリフォーム サービスショップ	3,365	3,705	3,770

事業セグメント別リフォーム商材売上比率 (前年同期比)

事業 セグメント	18/3期3Q	19/3期3Q	差
LWT	44%	44%	+0.1pt
LHT	32%	32%	+0.2pt
LBT	23%	23%	-0.8pt
国内・計	36%	36%	0.0pt

金属リフォーム専用商材拡販

PATTOリフォーム デモカー
を活用して、
リフォーム専用商品を
営業現場で提案し、
リフォーム売上
増加に貢献。



PATTOリフォーム デモカー



(1) 同一基準に基づく比較を可能とするため、前年同期のリフォーム売上高を遡及修正しています。

25

商品・サービス別売上状況

(単位：億円)

(単位：%)

セグメント	主要商品名	18/3期 通期実績	18/3期 3Q実績	19/3期 3Q実績	前年 同期比 (%)	前年同期比						
						18/3期				19/3期		
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
LWT	衛生機器	1,066	797	774	-2.8	11.4	6.4	3.3	-2.7	-2.8	-5.0	-0.6
	バスルーム	1,022	771	755	-2.1	11.4	7.7	9.3	9.1	2.8	-3.2	-5.3
	洗面化粧台	369	272	272	-0.2	8.9	2.6	5.9	0.3	2.0	-1.9	-0.5
	キッチン	1,134	846	835	-1.3	8.0	6.1	8.2	2.6	1.6	-3.2	-1.9
	タイル	296	217	216	-0.2	1.1	3.3	-0.1	2.7	2.8	-4.0	0.7
LHT ⁽¹⁾	住宅サッシ	1,915	1,477	1,408	-4.7	-0.3	-4.1	-3.1	-8.0	-7.4	-7.3	0.5
	エクステリア	1,067	818	831	1.7	-0.5	-1.1	-0.4	-5.5	-3.9	-3.8	12.1
	リビング建材	604	456	474	3.9	-1.3	1.0	2.8	-2.7	0.2	0.9	10.0
	その他LHT	919	672	709	5.4	-18.5	-16.0	6.8	1.1	3.9	4.0	8.0
LBT	ビルサッシ	1,067	788	821	4.2	9.1	-7.4	-3.8	-4.4	6.5	-0.2	7.1
D&R	ホームセンター売上	1,735	1,341	1,360	1.4	-0.2	0.9	1.7	1.1	-1.0	1.7	3.4
H&S ⁽²⁾	住宅・サービス事業	523	395	410	3.7	-23.6	-28.0	-4.5	-18.9	7.6	11.3	-5.1
	海外売上 ※	4,145	4,193	4,270	1.8	5.0	15.2	8.3	11.8	1.7	-0.8	4.5
	その他・連結調整等 ※	786	661	677	2.3	-	-	-	-	-	-	-
	売上合計 ※	16,648	13,704	13,812	0.8	1.3	2.1	3.8	0.5	0.9	-1.4	2.7

※ベルマステリーザ社の事業は、当第2四半期から継続事業として表示されることとなったため、18/3期3Q実績を遡及修正しています。ただし18/3期通期実績及び18/3期の四半期ごとの前年同期比は修正していません。



(1) その他LHT：18/3 1Q、2Qにおける売上高の前年比減少は、2016/8に実行されたハイビック(株)の売却による
(2) 18/3 1Q-4Qの減少は、JIO連結除外(持分法子会社化)による

26

主要海外子会社業績

会社名	ASB (ASD Holdings)			
通貨・単位	単位：百万米ドル			
決算期	18/3期 3Q 実績	19/3期 3Q 実績	前年同期比	(参考) GROHE統合影響 除く前年同期比 ⁽¹⁾
為替レート(期中平均レート)	111.82	110.82	-	-
売上高	851	929	9%	2%
事業利益	53	39	-27%	-28%
事業利益率	6%	4%	-2.0	-1.8

決算期	18/3期 期末残高	19/3期 3Q (9ヵ月)		
		償却額	その他 ⁽²⁾	期末残高
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	106.24	110.82	-	111.00
のれん	230	-	0	230
無形資産	243	-6	0	237
固定資産・在庫等再評価	-	-	-	-

会社名	Grohe Group (グローエ) ⁽³⁾			
通貨・単位	単位：百万ユーロ			
決算期	18/3期 3Q 実績	19/3期 3Q 実績	前年同期比	(参考) GROHE統合影響 除く前年同期比 ⁽¹⁾
為替レート(期中平均レート)	128.59	129.38	-	-
売上高	1,121	1,094	-2%	3%
事業利益	126	111	-12%	-11%
事業利益率	11%	10%	-1.1	-0.7

決算期	18/3期 期末残高	19/3期 3Q (9ヵ月)		
		償却額	その他 ⁽²⁾	期末残高
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	130.52	129.38	-	127.00
のれん	1,194	-	8	1,203
無形資産	1,497	-17	0	1,480
固定資産・在庫等再評価	-	-	-	-



LIXIL

(1) 2017/10にGROHE (America) はASD Holdingsに統合されています。LWT地域別はP7ご参照

(2) 為替換算差額など

(3) LIXIL Africa (旧GDWT) を含む

27

主要海外子会社業績

会社名	Permasteelisa (ペルマスティリーザ)		
通貨・単位	単位：百万ユーロ		
決算期	18/3期 3Q 実績	19/3期 3Q 実績	前年同期比
為替レート(期中平均レート)	128.59	129.38	-
売上高	938	931	-1%
事業利益	5	-72	-
事業利益率	0%	-	-

決算期	18/3期 期末残高	19/3期 3Q (9ヵ月)	
		償却額	その他 ⁽²⁾
為替レート(残高は期末レート、償却は期中平均レート)	130.52	129.38	-
のれん	-	-	75
無形資産	-	-4	126
固定資産・在庫等再評価	-	-	-

(注) 19/3期第2四半期より、ペルマスティリーザ社を<非継続事業> から<継続事業> に振り替えています。

■ 受注状況

通貨・単位	単位：百万ユーロ	
決算期	18/3期 3Q (9ヵ月) 実績	19/3期 3Q (9ヵ月) 実績
新規受注	763	954
期末残高	2,070	1,969



LIXIL

(2) 為替換算差額など

28

役員体制：取締役（2019年1月時点）

▶ 取締役一覧（◎は2018年11月新任、☆は2019年1月より取締役会議長新任、□は独立役員、下線付きは女性）

	氏名	執行役兼任	指名委員会	監査委員会	報酬委員会
社内取締役	潮田 洋一郎	○			
	◎ 山梨 広一	○			
	瀬戸 欣哉	○			
	☆ 金森 良純				
	菊地 義信		○		○
	伊奈 啓一郎				
	白井 春雄			○	
	川本 隆一				
社外取締役	□ 川口 勉		○	委員長	
	□ 幸田 真音		○		委員長
	□ バーバラ・ジャッジ		委員長		○
	□ 吉村 博人		○	○	
人数	12	3	5	3	3

ESG関連トピックス

LIXILが第2回「ジャパンSDGsアワード」 推進副本部長（外務大臣）賞を受賞

これまでLIXILは、継続的に衛生的なトイレを世界中の人びとに届けるため、官民連携を通してトイレの未整備によりもたらされる社会・衛生環境問題の解決に向けた活動を行ってきました。

今回の受賞では、革新的で低価格な開発途上国向け簡易式トイレシステム「SATO」製品の開発などのビジネスを通じた課題解決に貢献している点などが評価され、表彰されました。



総理大臣官邸
で開かれた
授賞式後の
記念撮影

※全閣僚を構成員とする持続可能な開発目標（SDGs）推進本部が、国連で採択されたSDGs達成に向けて優れた取り組みを行っている企業・団体等を表彰

CDPウォーター企業調査で初めて最高評価 「ウォーター2018 アリスト企業」に認定

LIXIL グループは、CDP※が実施する水資源管理に関する調査において、優れた取り組みを実施している企業として最高評価の「ウォーター2018 アリスト企業」に初めて選定されました。今回、全世界で27社、日本では8社が「ウォーター2018 アリスト企業」に選ばれました。



※: CDPは運用資産総額100兆ドルを有する800を超える機関投資家を代表して、企業へ気候変動や水保全の取り組みに関する質問書を配布し、回答データを投資家へ開示する国際的な非営利団体です
参照：<https://www.cdp.net/>

事業関連トピックス

LIXIL初のデジタル施設 「LIXIL Digital Studio GINZA」をオープン

LIXILは、VR・ARなどの最新のデジタル技術を活用し、バーチャル体験をしていただくことで、理想の住まい探しをサポートしていく、LIXIL初のデジタル施設「LIXIL Digital Studio GINZA」を東京・銀座エリアに、2018年10月19日にオープンしました。

商品設置後のイメージを分かりやすく提示することで、お客さまに商品をより身近に感じていただくことができます。潜在顧客層とのコミュニケーションを創出する新たな形の情報発信拠点として、商品やリフォームの魅力を伝えていきます。



LIXIL Digital Studio GINZA ホームページ：
https://www.lixil.co.jp/lixil_digital_studio/



ニュースリリース：
https://newsrelease.lixil.co.jp/news/2018/090_showroom_1017_01.html
https://www.lixil.com/jp/news/pdf/20190118_R&Dcenter_J.pdf

アジアの最先端の研究開発拠点を 上海に新設

LIXIL グループは年1月17日に中国・上海市に新しく、アジアの研究開発拠点の中心となる施設を設立しました。当社グループは中国市場を中心に先進的な水まわり製品を展開しながら成長を続けており、同国はアジア全体の開発において大きな役割を担ってきました。

本施設は、American Standard、DXV、INAX、GROHEおよびLIXILを含むLIXILグループがアジアで展開する水まわりブランドの最新のイノベーションが集結されています。



外部評価

FTSE4Good Index Series

FTSE Russell社⁽¹⁾の「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄と「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に2年連続で選定（2018年6月）



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan

MSCI日本株女性活躍指数

MSCI社の「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構成銘柄に2年連続で選定（2018年7月）



2018 Constituent
MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

免責事項

株式会社LIXILグループのMSCI指数への組み入れ、及び本ページにおけるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数名の使用は、MSCIまたはその関連会社による株式会社LIXILグループへの後援、保証、販促には該当しません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCI指数の名前およびロゴはMSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

DJSI Asia Pacific Index

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスと RobecoSAM社のダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) の「DJSI Asia Pacific Index」の構成銘柄に2年連続で選定（2018年9月）

MEMBER OF

**Dow Jones
Sustainability Indices**

In Collaboration with RobecoSAM

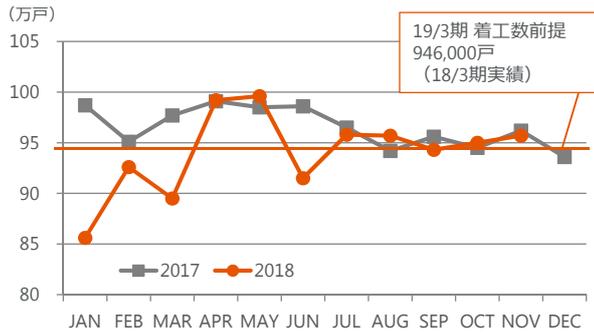
S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」の構成銘柄に、プラスの構成比率（+10%）で選定（2018年9月）



事業環境

日本における新設着工数の推移



出所：国土交通省公表 新設着工データ (2017/1-2019/1)

新築着工水準（対前年比）

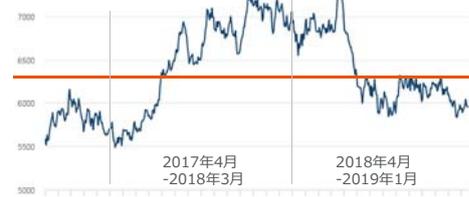
- 2018/7-9：-0.2%
- 2018/1-9：-3.3%

	2018年1月-11月 (11ヵ月)		2018年4月-11月 (8ヵ月)	
	戸数	前年比	戸数	前年比
総数	864,006	-2.7%	658,961	-0.8%
持家(1)	258,820	-0.8%	197,974	0.0%
貸家	365,616	-5.3%	278,195	-3.9%
分譲マンション	100,964	-6.0%	78,307	0.1%
分譲戸建(2)	129,387	2.5%	97,127	3.8%
戸建合計(1)+(2)	388,207	0.3%	295,101	1.2%

アルミ価格



銅価格



為替 (期中平均レート)	17/3期 実績	18/3期 実績	19/3期 計画前提
米ドル	109.03円	110.81円	115円
ユーロ	119.37円	129.45円	135円

原材料価格の 実績と前提	17/3期 実績	18/3期 実績	19/3期 計画前提
アルミ価格 (購入ベース)	22万円/トン	23.4万円/トン	25.0万円/トン
銅価格	51万円/トン	63.9万円/トン	73.3万円/トン

LIXIL

33

LIXIL
Link to Good Living

この資料には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。